

全国から第19回(東京)大会へご参集を

日本デイケア学会第19回年次大会 大会運営委員長 西澤 利朗

第19回デイケア学会は東京で開催します。松永宏子
大会長のもと関東在住の学会員の協力と、理事長をはじめ
関東地区理事のご協力のもと、準備は着々と進められて
おります。

これまでお知らせしてきましたように、今期学会のメイ
ンとなるテーマは「生活を支えるデイケア～自らの生き方
の創造と選択～」です。ここにはデイケアがともすれば
医療行為や治療的枠組みに収斂されることへの疑念をみ
てとることができます。改めてデイケアという場を見つめ、
同時にデイケアの持つ機能・役割を再考したい。またデ
イケアは本来の医療がそうであるように、病と障害を同
時に抱え込まされた人々に対する、日々の生の営みを再
構成する場であり、この目的に向け医師をはじめ多職種
による実践を通し、共に生活を支え、支援する場である
ことを考えてみたいという思いが強く反映されているよう
に思えます。これらの思いは、大会長の「デイケアでの
かわりと生活支援」に端的に表現されるものと思いま
す。

またデイケアの歴史を振り返り、未来を展望する目黒
克己、窪田彰、柏木昭の3人の先生による鼎談や4つ
の教育講演と4つのシンポジウム、12分科会における
50を超える発表演題、4つのポスターセッションでの22
題が用意されます。加えて海外交流企画として、韓国盤
浦総合社会福祉館と2校の大学教員を招いて、韓国の
精神医療の現状と、地域福祉館で展開されている特色
あるデイケアプログラムの紹介があります。近くて遠い国
として考えられがちな隣国である韓国の実情から学ぶも

のが多くありそうです。

記念講演・特別講演を用意しており、画家フェルメ
ールの研究者である小林頼子さんとジャーナリストの堀川
恵子さんに、大会に相応しい講演をお願いしています。
小林さんには「観る楽しみ、考える楽しみ」、堀川さん
には「聴きとること、読み取ること」と題する講演を予定
していますが、私たちの日々の営為に多くの示唆がこれら
講演から与えられることと思います。そして、なによりも
50を超える学会構成員の日頃の実践発表と、懇親会等
を通し、そこでの交流と意見交換が大いに盛り上がるこ
とを期待しております。

開催会場であり多くの協力を得ることができました目白
大学は、新宿区の西にあり、中野区に隣接し、目白台地
の西端(目白台地は日本女子大学、学習院大学に連なっ
ています)に位置します。近くに「放浪記」の代表作を
残した作家、林 芙美子の新宿区立記念館もあり、緑
と東京副都心の見晴らしは実に素晴らしいのですが、な
にぶん高台に位置するため、会場までは少し坂を登る必
要があります。日々の実践を長く積み重ね、経験豊富な
皆さんには、「五の坂」が少々きついかもかもしれません。
坂の途中で一息ついて、余裕を持ってご参加いただきます
ようお願いいたします。

残すところ大会まで三ヶ月余りになりました。大会運営
委員35名余と学生の協力を得て、大会まで全力疾走の
体制で臨みます。多くの皆様の参加をお願いし、大会で
の再会を楽しみにお待ちしております。

日本デイケア学会 第19回年次大会東京大会のご案内

大会テーマ

「生活を支えるデイケア —自らの生き方の創造と選択—」

大会長

松永 宏子 (社会福祉法人サンワーク理事長)

運営委員長

西澤 利朗 (目白大学教授)

顧問

柏木 昭 (聖学院大学総合研究所名誉教授)

大会URL

<http://www.daycare.gr.jp/19th/>

会期

平成26年 9月18日 (木) ~ 9月19日 (金)

※学術大会 9月18日 (木)・19日 (金) /

研修会 9月19日 (金) / 施設見学会 9月20日 (土)

会場

目白大学新宿キャンパス

目白大学新宿キャンパス <http://www.mejiro.ac.jp/map/>
東京都新宿区中落合4-31-1

参加費

会 員	事前登録	7,000円	当 日	8,000円
一 般	事前登録	8,000円	当 日	9,000円
当事者・家族・学生		4,000円		
懇親会		5,000円		

※事前参加登録を7月31日まで延長致しました。

事前参加登録は今大会ホームページにて受付けます。

学会主催研修会

日 時:平成26年9月19日 (金) 16:30~18:30

※別紙研修会案内 (申込書) をご参照ください。

施設見学会

日 時:平成26年9月20日 (土)

※別紙施設見学会案内 (申込書) をご参照ください。

ポイント取得について

今大会では、日本精神神経学会精神科専門医資格更新にかかるポイントの取得ができます。

交通・宿泊の手配
について

交通、宿泊、観光のご相談は、下記旅行社を案内致しますので、必要な場合には、個人の責任においてご連絡の上、各自ご手配ください。

日通旅行社株式会社 社団体営業部 営業第三課 担当:片岡

TEL:03-5809-9653 FAX:03-5621-8293

ホームページ <http://www.nittsu-ryoko.co.jp/event/daycare/>

お問合せ先

日本デイケア学会第19回年次大会東京大会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 (有) エム・シー・ミュージズ内

TEL 03-3812-0383 FAX 03-3812-0376

E-mail: 19th-info@daycare.gr.jp

日本デイケア学会第19回年次大会プログラム 1日目
2014年9月18日(木)

受付開始 (9:00 第1会場《佐藤重遠記念館》)

開会式 総合司会 **風間真理** (目白大学) (10:00-10:20 第1会場《佐藤重遠記念館》)

基調講演 (10:30-11:30 第1会場《佐藤重遠記念館》)

「デイケアでのかかわりと生活支援」

座長 **窪田 彰** (日本デイケア学会理事長)

演者 **松永 宏子** (日本デイケア学会第19回年次大会長)

記念講演 (11:40-12:40 第1会場《佐藤重遠記念館》)

「観る楽しみ、考える楽しみ -フェルメールの世界をめぐる-」

座長 **井上 牧子** (目白大学)

演者 **小林 頼子** (目白大学社会学部メディア表現学科教授)

海外交流企画 (14:50-16:50 第1会場《佐藤重遠記念館》)

「韓国の精神医療と日中活動における人権プログラム」

座長 **西澤 利朗** (目白大学)、**井上 牧子** (目白大学)

演者 **朴宰佑** (盤浦総合社会福祉館 コリンサセン施設長)

演者 **金翰郁** (盤浦総合社会福祉館 館長)

演者 **李宣英** (韓国ルーテル大学社会福祉学科教授)

演者 **田鎬成** (韓国江南大学校社会福祉学科助教授)

鼎談 (17:00-18:00 第1会場《佐藤重遠記念館》)

「デイケアの歴史を振り返って——過去から未来へ」

司会 **窪田 彰** (日本デイケア学会理事長)

演者 **窪田 彰** (日本デイケア学会理事長)

演者 **目黒 克己** (医療法人高仁会戸田病院)

演者 **柏木 昭** (聖学院大学総合研究所)

教育講演Ⅰ (13:30-14:30 第3会場《10号館9F 10900教室》)

「社会制度・政策」 (仮)

司会 **古屋 龍太** (日本社会事業大学)

演者 **平野 方紹** (立教大学コミュニティ福祉学部)

教育講演Ⅱ (13:30-14:30 第4会場《10号館9F 10901教室》)

「認知症の方への生活支援」 (仮)

司会 **加藤 隆寛** (成仁病院)

演者 **比留間ちづ子** (若年認知症社会参加支援センタージョイント)

教育講演Ⅲ (13:30-14:30 第5会場《10号館9F 10902教室》)

「デイケア実践」 (仮)

司会 **松田 和也** (NPO法人リトルポケット)

演者 **栗原 毅** (世田谷区北沢総合支所デイケア)

教育講演Ⅳ (13:30-14:30 第6会場《10号館9F 10903教室》)

「薬について」 (仮)

司会 **板山 稔** (目白大学)

演者 **原 敬造** (医療法人社団原クリニック)

懇親会 (18:10-20:00 第2会場《研心館》) 参加費：5,000円

日本デイケア学会第19回年次大会プログラム 2日目
2014年9月19日(金)

特別講演 1 (9:30-10:30 第2会場《研心館》)

「聴きとること、読み取ることー永山則夫 封印された鑑定記録ー」(仮)

座長 西澤 利朗 (目白大学)

演者 堀川 恵子 (ジャーナリスト)

総会 (13:20-13:50 第3会場《10号館9F 10900教室》)

シンポジウム I (10:40-12:10 第2会場《研心館》)

「就労支援」(仮)

座長 城田 晴夫 (帝京平成大学)

演者 香田 真希子 (目白大学保健医療学部作業療法学科)

演者 若林 朝子 (国立精神・神経医療センター保護観察病棟デイケア)

演者 浅見 直之 (慈雲堂内科病院地域連携推進部デイケア)

シンポジウム II (10:40-12:10 第3会場《10号館9F 10900教室》)

「デイケアにおける治療的効果と生活支援～治療的効果を高め、
生活を支えるデイケアとはどのようなものか～」

座長 岩下 覚 (桜ヶ丘記念病院)

司会 栗原 活雄 (陽和病院)

演者 山中 恵子 (井之頭病院デイケア)

演者 保坂 宜孝 (杉並区保健所 高円寺保健センター)

演者 尾崎 多香子 (クボタクリニック)

シンポジウム III (14:00-15:30 第3会場《10号館9F 10900教室》)

「地域生活におけるピアサポート～支えられる生き方から支えあう生き方へ～」

座長 相川 章子 (聖学院大学)

宇田川 健 (地域精神保健福祉機構・コンボ 共同代表)

演者 高橋 美久 (ひだクリニック)

演者 磯田 重行 (就労継続Bピアつばめ施設長)

演者 福智 寿彦 (医療法人福智会すすかけクリニック)

シンポジウム IV (14:00-15:30 第4会場《10号館9F 10901教室》)

「高齢者の地域生活を支える『日中活動』

～多様化する高齢者デイサービスの実践から考える～」

座長 小野寺敦志 (国際医療福祉大学大学院)

司会 中山あんな (上智大学大学院総合人間科学研究科博士課程前期)

演者 岩尾 貢 (特別養護老人ホーム「サンライフたきの里」施設長)

演者 高橋 幸男 (エスポアール出雲クリニック院長)

演者 飯塚 裕久 (小規模多機能型居宅介護「ユアハウス弥生」所長)

日本デイケア学会第19回年次大会プログラム 2日目
2014年9月19日(金)

- 精神分科会 I** (9:30-10:30 第7会場《10号館3F 10300教室》)
「活動(心身機能向上)」 座長 四本 かやの(神戸大学)
- 精神分科会 II** (9:30-10:30 第8会場《10号館3F 10301教室》)
「高次脳機能障害」 座長 栗原 毅(世田谷区北沢総合支所デイケア)
- 精神分科会 III** (9:30-10:30 第9会場《10号館3F 10302教室》)
「心理教育・若年」 座長 西村 良二(福岡大学医学部精神医学教室)
- 精神分科会 IV** (9:30-10:30 第10会場《10号館3F 10303教室》)
「デイケア機能(個別事例)」 座長 富澤 宏輔(大阪人間科学大学)
- 精神分科会 V** (9:30-10:30 第11会場《10号館3F 10304教室》)
「当事者活動」 座長 福智 寿彦(医療法人福智会すずかけクリニック)
- 精神分科会 VI** (14:00-15:30 第5会場《10号館9F 10902教室》)
「生活支援」 座長 鈴木 慎治(井之頭病院)
- 精神分科会 VII** (14:00-15:30 第6会場《10号館9F 10903教室》)
「認知行動療法」 座長 交渉中
- 精神分科会 VIII** (14:00-15:30 第7会場《10号館3F 10300教室》)
「うつリワーク」 座長 柏木 昭(聖学院大学総合研究所)
- 精神分科会 IX** (14:00-15:30 第8会場《10号館3F 10301教室》)
「復職就労支援」 座長 城田 晴夫(帝京平成大学)
- 精神分科会 X** (14:00-15:30 第9会場《10号館3F 10302教室》)
「活動(スポーツ・イベント)」 座長 竹中 秀彦(京ヶ峰岡田病院)
- 精神分科会 XI** (14:00-15:30 第10会場《10号館3F 10303教室》)
「デイケア機能(評価・調査)」 座長 浅野 弘毅(東北福祉大学せんだんホスピタル)
- 精神分科会 XII** (14:00-15:30 第11会場《10号館3F 10304教室》)
「日常活動プログラム」 座長 古屋 龍太(日本社会事業大学)
- 高齢者分科会 I** (10:40-12:10 第6会場《10号館9F 10903教室》)
「高齢者分野」 座長 中野 祐紀(社会福祉法人鶴寿会サンライフたきの里)
- ポスターセッション I** (12:10-13:10 第12会場《10号館4F 10405教室》)
司会 丹野きみ子(元国際医療福祉大学)
- ポスターセッション II** (12:10-13:10 第13会場《10号館4F 10406教室》)
司会 高橋 馨(錦糸町クボタクリニック)
- ポスターセッション III** (12:10-13:10 第14会場《10号館4F 10408教室》)
司会 江田 暁子(株式会社ウイングル蒲田)
- ポスターセッション IV** (12:10-13:10 第15会場《10号館4F 10409教室》)
司会 渡辺由美子(市川市南八幡メンタルサポートセンター)
-

機能訓練特化型デイサービスの取組み

勝山 正次¹⁾ 中山 あんな²⁾

介護職として初めて勤務した法人の高齢者デイサービスで、生き生きとマシントレーニングにいそむ利用者が多いことに驚いた。「またカートを使わずにゴルフコースを回れるようになることが目標」と語る人もいた。利用者全員が一緒に塗り絵や体操をする施設とは明らかに様子がちがっている。折しも“予防重視型システムへの転換”が大きなポイントとなった改正介護保険法が施行された平成18年のこと。そのデイサービスが試験的に採り入れていたのが、介護予防の普及と介護保険制度の健全化を目的として設立された「早稲田大学エルダリー・ヘルス研究所」によって培われた介護予防運動プログラムであり、それからまもなく、そのプログラムを集中的に実践する介護予防通所介護施設として、「早稲田エルダリーヘルス事業団」を運営母体に「早稲田イーライフ」が立ち上げられる。いわば大学の研究機関と実践機関である事業団が両輪となって携わる、当時としてはかなりイノベティブなスタイルで運営されるデイサービスのスタートだった。

「早稲田イーライフ」では、運動器の機能向上だけでなく利用者の意識と日常生活のなかに運動習慣を定着させる“行動変容”によって、IADLを回復、向上させることをプログラムの実施目標として見定め、設立当初よりあえてリハビリデイサービスという言葉は使わず、「要支援」認定高齢者を対象とした“機能訓練特化型介護予防通所介護施設”として介護保険制度における立ち位置を明確に打ち出し、そのネットワークをこれまで全国規模で展開させてきた。

利用者の多くは、入浴や食事の提供はないかわりに機

能訓練の目的に集中できるこのデイサービスの利用を本人の意思によって選択し、通所をきっかけに自身の生活リズムによりメリハリを利かせるという行動変容を通して、ICFに分類される場所の「参加」や「活動」を実現、持続させている。

ネットワークに所属する各施設の運営については、あらかじめ介護保険制度に則った運営のノウハウと、プログラムや広報誌といったオリジナルの運営ツールが整ったところから事業を開始できる代理店制システムを導入することにより、開設直後の初期段階から、介護予防の推進という法制度の根幹を共有しつつ地域性にも考慮したサービスを、安定したかたちで提供することが可能になったという。

介護保険制度は今、平成27年春に向けて平成18年の改正を上回る大きな制度改革の局面を迎え、介護予防通所介護は介護保険の枠組みから市町村の地域支援事業へと再編される方向性が打ち出されたが、機能分化の進むデイサービスのそれぞれが、今後も引き続き利用者の地域生活を支持する制度改革となることを願っている。

(¹⁾(株)早稲田エルダリーヘルス事業団)

(²⁾上智大学大学院総合人間科学研究科博士前期課程)

いくつかのパソコン訓練のデイケアを立ち上げて

高橋 馨

錦糸町クボタクリニック(以下、当院)ではパソコン訓練の精神科デイケアをこれまでにいくつか立ち上げ、実施している。平成18年障害者雇用に精神障害者が企業への就労枠を義務付けられて以降、デイケアでの「就労支援」が時代的な流行になっていた。当院では「実践的就労プログラム(以下、実践就労)」というパソコン技術の向上、ビジネスマナーの習得などを目的としたデイケアを始めた。同時期、「パソコンができないと誰も雇ってくれないから」という患者さんの話も多く聞かれ、パソコンを習いたいというニーズが高まり、パソコン初心者を対象とした「パソコン入門講座(以下、入門)」というショートケアを半年1クールで開設した。

このように当院でのパソコン訓練のデイケアが開始された。幸いにも参加を希望する患者さんが後を絶たなかったのは、時代的な要請が大いに関係していたと言える。これらのデイケアは「就職の準備のために」「パソコンを習うから」といった活動の目的そのものが他のレクリエーション中心のデイケアとは質を異にしていた。そのためにこれまでは周囲から幾度となくデイケア参加を勧められてはいたものの頑なに拒否し続けた患者が、パソコン訓練のデイケアには参加する、という新たな展開がみられた。上記のような時代的背景と活動の目的は、他の一般的なデイケアとは異なる方法で、人と関わる場に患者さんの足を向かわせたようだった。当院にとっては、援助や治療の幅に広がりをもたらされた出来事であった。

「入門」の卒業先として「パソコン中級講座(以下、中級)」を始めたのは、「実践就労」開設の2年後だった。「入門」と同様に半年1クールとした。「入門」は主にWordの学習が中心のため、「中級」ではExcelの学習をした。参加希望者は「入門」卒業生を中心に、毎回応募定員

の枠を超える人気であった。中には「1度参加したけど、もう一回勉強したい」と意欲的な人もいて、スキルを獲得していく喜びや達成感、共に学ぶ仲間との出会いが、人の成長に役立つことを私たちスタッフに教えてくれた。

「中級」開設により当院のパソコン訓練デイケアは、「入門」から順を追って参加することで、初心者でもパソコンスキルを習得し、事務関係での就職への道筋が示されるようになったと言えるだろう。

これまで立ち上げてきたパソコン訓練のデイケアは定員制のため、希望しても参加できない人も多く、またいくつかの講座に参加したものの、なかなかスキルが身につかない人もいたため、「入門・中級」卒業生を対象に、自由にパソコンの練習ができる場として「パソコンサロン」を近年開始し現在に至っている。

このように私たちのパソコン訓練の実践は時代の影響を受けつつ患者さんのニーズを汲み取りながら、幾つかの試みを行ってきた。その中でこれまでのデイケア活動では到底出会うことのできなかった患者さんの側面に触れ、理解を膨らませながら新たな治療の局面を展開してきたと言えるのではないかと考えている。

(PSW, 錦糸町クボタクリニック)

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円（登録者名の変更は適宜可能）

（3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください）

振込先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格（会則の一部を引用します）

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線（ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。） -----

入会申込書

(正会員用)

申込日 平成 年 月 日

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	()	FAX	()
----	--	-----	-----	-----	-----

デイケア従事者(計 名) ※デイケア従事者より会員登録となります。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ